

茨城県

育成会だより

第 141 号

発行日 令和2年7月10日
 発行 一般社団法人
 茨城県手をつなぐ育成会
 編集 広報委員会
 事務局 〒310-0851 水戸市千波町1918
 茨城県総合福祉会館内
 ☎ 029-243-3838
 FAX 029-243-3854
 URL <http://www.ibaikuseikai.com/>
 e-mail iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp



職員会議での話し合い



利用者作業風景



軍艦島（長崎県）
見学！



収穫祭での即売会



にぎやかな合同収穫祭

虹の里の活動実績は、ホームページやSNSを積極的に活用して情報発信に努めておりますので、ぜひご覧ください。

（連絡先） 稲敷郡美浦村受領 0967
 電話：0296-8404115

虹の里は、稲敷郡内に初めて開設された（障害者）入所施設です。開所から22年が経過した現在でも稲敷郡内唯一の入所施設となっており、隣接する通所生活介護施設、グループホーム、相談支援事業所と併せて、地元の方々のご支援をいただきながら、地域の障害福祉の領域、特に重度の知的障害者とそのご家族に対しては一定の役割を果たしてきたのではないかと考えています。

利用者の皆さんは全員障害支援区分4以上のいわゆる「重度」とされている方々ですが、一人ひとりの持てる力に即して軽作業・軽運動のほか、ビニールハウスでの野菜づくり、地域のご家庭や企業の除草作業などの諸活動に取り組みしており、さらに、村が主催するお祭りや奉仕作業にも積極的に参加し、地域とのつながりを大切にしています。

地域社会との調和を図りながら、
 安心して暮らせる施設を目指して
 社会福祉法人美しの森理事
 障害者支援施設虹の里施設長 八木澤 健仁

県育成会 新年度を開始 「総会」で5件を書面決議で承認へ

土浦市手をつなぐ育成会 渡辺 征

このたびの、まさに国難ともいえる新型コロナウイルス禍を、6月中には、国全体として、とくに茨城県は、何とか乗り越えることができる段階に達したようです。もとより、今後「第2波」「第3波」のゆりもどしが一部地域であるかもしれず、まったく油断はできませんが…。

県育成会としては、コロナの影響で、3月以降、通常の形で活動が行なえず、多くの関係者を集めての理事会や総会も開催できませんでした。そのため、令和2年度定例総会の決議事項（議案5件）は、理事会の5月中の書面議決を経たのち、6月中に決議事項（議案5件）を書面により正会員に諮り、令和2年度定例総会の決議として承認される予定です。

総会議案の予算決算の概要は、次の3・4ページに掲載します。詳細は、県育成会のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

- ・第1号議案 2019（令和元）年度事業報告について
- ・第2号議案 2019（令和元）年度決算報告について
- ・第3号議案 令和2年度事業計画（案）について
- ・第4号議案 令和2年度収支予算（案）について
- ・第5号議案 役員の改選について

「コロナ」を超えて 育成会を進めよう！

県育成会会長 矢野 清

100年に1度とも言われる「新型コロナウイルス」との戦いも、6月に入り、ようやく収束の兆しが見えてきました。ここ数か月間、それぞれのご家庭で大変なご苦勞があったことと存じます。これからも油断することなく、さらに一段と健康に十分配慮してまいりましょう。

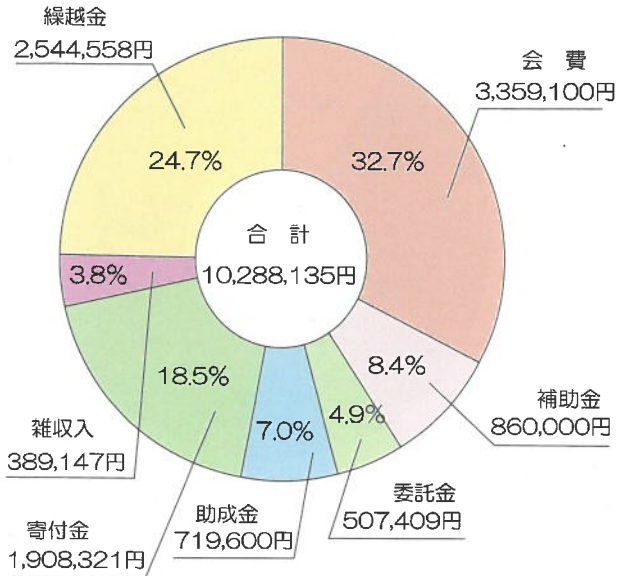
令和2年（2020年）年の「新開始」に当り、県育成会としての今年度の基本的考え方を申し上げます。

1. **初めての新型コロナウイルス感染症を経験**する中で、在宅の方、施設入所の方々の諸問題についての対応を最優先に考え、各会員の要望を育成会でしっかり把握して、その対応策を考えていきます。
2. **親や障がいのある本人の高齢化**が進み、親なきあとの対応が大きな課題となっております。この課題への対応に、改めて育成会として取り組みます。
3. **特別支援学校との関係強化**——
特別支援学校と連携し、必要な活動や保護者との話し合いの場を通じて保護者の要望を受けとめ、関係機関への働きかけを行なってまいります。
4. **会員拡大の取り組みについて**——
若い世代の方々のニーズに対応できる魅力ある育成会づくりを、積極的に進めてまいります。そのため、会員各位のご意見・提案を把握すべく努めてまいります。ホームページの活用拡大も検討します。
5. **新型コロナウイルスの危機を乗り越えて**、県育成会を一步二歩前進させましょう！！

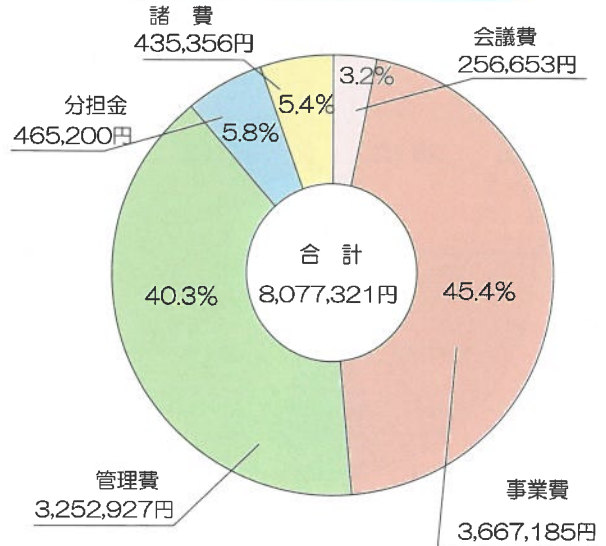


令和元年度決算報告概要

一般会計収入の部グラフ



一般会計支出の部グラフ



期間 自：平成31年4月1日
至：令和2年3月31日
単位：円

【一般会計収入の部】

単位：円

項目・収入額	主な内容
会費 3,359,100	地域育成会 3,193,900 福祉協会 10,000 特別支援教育研究部 132,200 知的障害特別支援学校 19,000 賛助会員 4口 4,000
補助金 860,000	県補助金 860,000
委託金 507,409	ボランティア活動参加促進事業 155,000 相談員活動強化事業 352,409
助成金 719,600	共同募金配分金 350,000 地方活動助成金 219,600 いばらき障害者生活サポート協会 150,000
寄付金 1,908,321	茨城県PTA連絡協議会 100,000 茨城県遊技業協同組合 50,000 茨城新聞文化福祉事業団歳末愛の募金 150,000 心のとも運動 1,608,321
雑収入 389,147	銀行利息 51 災害義援金(台風15・19号・九州水害) 259,516 全育連育成会活性化のための研修事業に係る事務手数料 20,000 育成会だより広告掲載料 100,000 全国育成会より総会時旅費(会長分) 9,580
繰越金 2,544,558	平成30年度繰越金 2,544,558
計	10,288,135

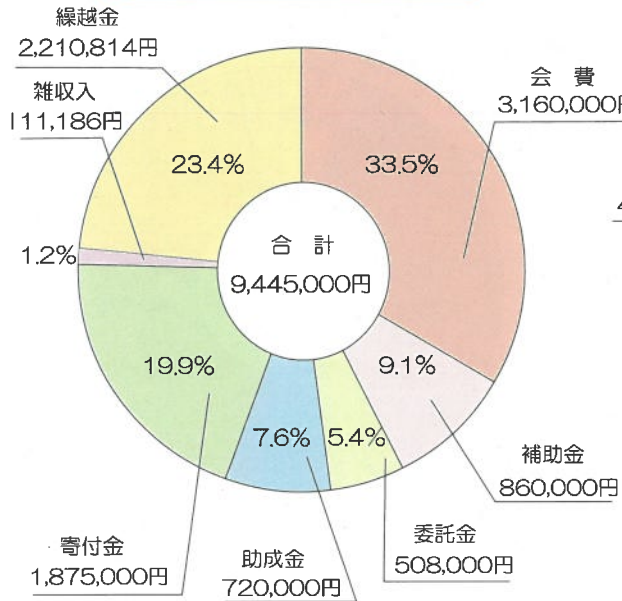
【一般会計支出の部】

単位：円

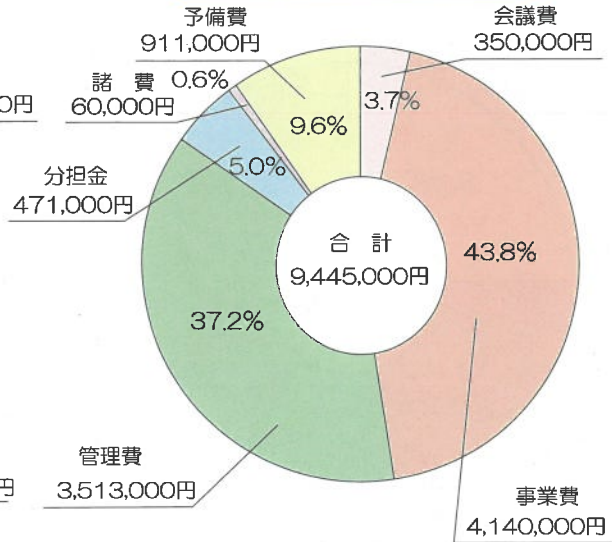
項目・支出額	主な内容
会議費 256,653	理事会 4回 199,651 総会等 1回 31,066 臨時総会 1回 24,936 幹事会 1回 1,000
事業費 3,667,185	研修費 3回 336,547 大会費(茨城大会) 301,054 専門委員会費 456,907 手をつなぐ子らの作品展費 240,000 組織強化費 341,658 啓発推進費 549,606 代表者派遣費 406,332 団体助成費(特別支援教育研修部) 480,000 本人部会育成費 202,672 相談員研修事業費 352,409
管理費 3,252,927	旅費 9,790 需用費 235,682 役員費 143,529 人件費 2,670,662 借用損料 193,264
分担金 465,200	全国育成会連合会分担金 383,000 関ブ口川崎大会分担金 33,000 特別支援教育推進連盟 30,000 県社協 15,000 県社協予対協力金 1,200 権利条例を作る会年会費 3,000
諸費 435,356	心のとも運動頒布品サンプル購入代 43,230 心のとも運動 封筒作成代 86,000 山本敬由様 葬儀香典・生花代 26,610 台風15・19号九州水害義援金 259,516 DPI日本会議全国集会協賛金・広告料 20,000
予備費	0
計	8,077,321

令和2年度予算概要

一般会計収入の部グラフ



一般会計支出の部グラフ



自：令和2年4月1日
 期間 至：令和3年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

項目・収入額	主な内容	金額 (円)
会費 3,160,000	地域育成会 38会 福祉協会 特別支援教育研究部 知的障害特別支援学校	3,000,000 10,000 131,000 19,000
補助金 860,000	県福祉団体補助金 県福祉団体等支援補助金	360,000 500,000
委託金 508,000	ボランティア活動参加促進事業 相談員活動強化事業	158,000 350,000
助成金 720,000	共同募金助成金 地方活動助成金 いばらき障害者サポート協会	350,000 220,000 150,000
寄付金 1,875,000	茨城県PTA連絡協議会 茨城県遊技業協同組合 茨城新聞文化福祉事業団 心のとも運動	100,000 25,000 150,000 1,600,000
雑収入 111,186	広告掲載料 災害義援金等 預金利子	100,000 10,000 1,186
繰越金	正味財産令和元年度末残高	2,210,814
計		9,445,000

【一般会計支出の部】

単位：円

項目・支出額	主な内容	金額 (円)
会議費 350,000	理事会 総会等	290,000 60,000
事業費 4,140,000	研修費 大会費（茨城大会） 専門委員会費 手をつなぐ子らの作品展 組織強化費 啓発推進費 代表者派遣費 団体助成費（特別支援教育研究部） 本人部会育成費 相談員研修事業費 地域交流費	400,000 400,000 550,000 240,000 480,000 580,000 400,000 360,000 230,000 350,000 150,000
管理費 3,513,000	旅費 需用費 役務費 人件費 借用損料	50,000 400,000 198,000 2,666,000 199,000
分担金 471,000	全国育成会連合会 全国大会 関プロ大会 関プロ連絡協議会 県社協 特別支援教育推進連盟 権利条例をつくる会 予算対策委員会 スペシャルオリンピックス日本・茨城	330,000 53,000 30,000 3,000 15,000 30,000 3,000 2,000 5,000
諸費 60,000	慶弔費等	60,000
予備費		911,000
計		9,445,000

新型コロナ感染症茨城県内の状況について

(記事内容：茨城県広報誌「ひばり」より)

今回の新型コロナ感染症により育成会活動も大きな影響を受けております。また、今後収束の兆しが見えたとしても、再感染が拡大している地域もありますので、新型コロナウイルスとの闘いは、長期戦を覚悟しなければなりません。私たちの日常生活は、自粛を続けることも、一気に元通りにすることもできない難しいバランスの中で、新型コロナウイルスとの共生が必要になってまいります。このような状況から、わたしたち一人ひとりが今後できることは、厚生労働省が発表した「新しい生活様式」を日常に取り入れていくことが大切ではないかと思えます。

「新しい生活様式」を日常に取り入れましょう

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画を立てて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車も利用

基本的な感染対策

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける
- マスクの着用
- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 「3密」の回避(密集・密接・密閉)
- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える

冠婚葬祭

- 多人数での会食は避けて

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座る

スポーツ

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ジョギングは少人数で

働き方

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- 会議はオンライン

厚生労働大臣表彰を受けて 本人部会 佐藤 宗智 かづとも

僕は、2月17日(月)、鈴木胖先生と一緒に、東京都厚生労働省と皇居に行ってきた。グループホームから東京まで、とても、緊張して、ドキドキしていました。皇居では、天皇皇后両陛下に直接お話しはできなかったけれど、お会いできてよかったです。僕は、厚生労働大臣賞をもらってうれしかったです。厚生労働大臣賞は、めったにないです。

(株)ワンダーキープ高萩とパウダーテック(株)一同、グループホームのみんな、本人部会と北茨城特別支援学校の先生方、OBのみなさん、ボウリングの中村終身名誉監督やコーチ、選手一同、家のお姉さん親せき一同、心から感謝をします。ありがとうございました。





ながいの見え方



上から目線の憂鬱

日立市手をつなぐ親の会 永井 立雄

最近、テレビのインタビューでアスリートがよく口にする言葉がちょっと気になります。「元気を与えたい」、「勇気を与えたい」・・・。本人たちはいたって素直に語っているのですが、「与える」という言葉にはどうしても上から目線の雰囲気を感じてしまいます。言葉の使い方も時代と共に変化するのでしょうか、このようなインタビューを聞くたびに心の居心地が悪くなるのは私だけでしょうか。

さて、「共生社会」という言葉も言われ始めてからしばらくたちますが、実際の中身（使われ方）を観察してみると、「障害者には優しくしてあげましょう」、「差別はやめましょう」、「助けてあげましょう」というようなパターンがまだまだ多いようです。ちょっと上から目線を感じませんか？

障害者問題を考えるとき、「合理的配慮」という言葉がとても大切なのですが、こちらはあまり理解されていないようです。「人間はみんな平等」、「差別は違法」という掛け声だけは大きくなってきましたが、一般社会では相変わらず上から目線の対応が多いのが実際です。本当はやってあげたり助けてあげたりするのではなく、障害があっても社会の中でいろいろなことを一緒にできるような環境を整えるのが大切なのですが・・・。

ところで、私たち障害者の家族はどうでしょう。家庭の中でも「合理的配慮」は意識されているのでしょうか。条件・環境を整えれば、障害者自身ができることはたくさんあるのですが、本人の意思を確認しないで「親」という上から目線であれこれ指図したり、いろいろなことをやってあげたりしていないのでしょうか。

「障害者やその家族は大変だから支援してあげよう」という意識はまだまだ一般的ですが、家庭の中でも同じような上から目線が蔓延^{まんえん}しているかもしれません。

【永井立雄氏は、県育成会では権利擁護委員会に所属しております。これまで長年、特別支援教育に携わって来られ、数カ所の支援学校長を歴任されました。前号から「ながいの見え方」と題して原稿を書いていただくことになりました。永井氏には、折々のテーマにそった内容で寄稿いただく予定です。】



令和2年度改選「理事」候補者名簿（案）

役職	氏名	所属会	備考	役職	氏名	所属会	備考
	鈴木金一郎	北茨城市手をつなぐ育成会			渡辺 征	土浦市手をつなぐ育成会	
	永井立雄	日立市手をつなぐ育成会	(新任)		後藤真紀	つくば市手をつなぐ育成会	(新任)
	露久保真依子	常陸大宮市手をつなぐ育成会	(新任)		吉川佳代子	潮来市障がい者児親の会	
	中村正子	ひたちなか市障害児者育成会			大高 滋	古河市心身障害児(者)父母の会	
	杉山正美	小美玉市心身障がい児者父母の会			大島みのる	桜川市手をつなぐ育成会	
	矢野清	NPO 法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会		理	菅谷久美子	結城市心身障害児(者)父母の会	(新任)
理事	西口規子	笠間市手をつなぐ育成会	(新任)	事	笹本健一	茨城県心身障害者福祉協会	(新任)
	大久保淑子	東海村心身障がい児者親の会			小林尚志	茨城県教育研究会特別支援教育研究部	(新任)
	田口美博	水戸手をつなぐ育成会	(新任)		田口美千代	茨城県特別支援学校知的障害教育校長会	
	飯村晴代	つくばみらい市手をつなぐ育成会			伊藤広也	本人活動実行委員会	
	大坪 浩	利根町手をつなぐ育成会			村田裕二	茨城県手をつなぐ育成会	(新任)
	嶋田みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会			清水 学	本人活動実行委員会	(新任)
	徳永一成	稲敷市手をつなぐ育成会		監	富田和子	水戸手をつなぐ育成会	(新任)
	根目沢浩幸	かすみがうら市手をつなぐ育成会		事	川内幸子	水戸手をつなぐ育成会	

「新任のご挨拶」－よろしくお願ひします

事務局長 村田 裕二

4月から、当育成会の事務局長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、県職員として、近年は保健福祉部の福祉指導課人権施策推進室や障害福祉課に在籍しておりました。特に障害福祉課では、障害者権利条例が施行された日に着任し、県独自の条例の周知・啓発のためのポスター制作や障害者差別の相談事例集の刊行など、障害のある方の権利擁護や合理的配慮への県民理解促進に携わってまいりました。

現在、県では「障害のある人も暮らしやすい社会づくり」を推進していますが、その前提にあるものは、障害を理由とする差別や偏見のない地域社会だと思います。

私も、皆様が取り組まれてきた障害のある方が安心して暮らせる生活支援や地域での社会参加・自立支援活動のお役に立てるよう勉強してまいりますので、よろしくご指導くださるようお願いいたします。



令和2年度行事予定についてのお知らせ

ご承知のとおり、県育成会の年間行事予定がまだ立案できておりません。できるだけ早く「予定」を立て、随時、会員各位にご連絡いたします。

一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会 会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

障がいのある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です

障がいのある方向けプラン

特長1 代理手続き・代理告知が可能です。

特長2 告知対象疾患の緩和を行います。

障がいのある方のご家族向けプラン

特長3 成年後見費用を補償します。



※「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先（取扱代理店）に資料請求をお待ちしております。

[取扱代理店]

ぜんち共済株式会社

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850

FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

[引受保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一東東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00~17:00)

2019年8月作成
19-TC02653

〔図書のご案内〕

「あたらしいほうりつの本 (2018年改訂版)」 著者 又村あおい

障害のある人が地域で暮らしていくために必要なサービスを、分かりやすく紹介しています。好評だった2014年版の最新改訂版。2018年4月から始まった新サービスをすべて解説しています。

申込先：公益社団法人 日本発達障害連盟 定価：1,200円+税

電話 03-5814-0391 FAX 03-5814-0393



編集後記

石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会の渡邊一男ですが、4月より広報委員会のメンバーになりましたので、よろしくお願ひします。若い頃は仕事優先で、知的障がいを持つ長男については、全て妻任せでしたが、仕事が一区切りついたので、これからは、長男と向かい合っていこうと、知人と「農福連携」のNPO法人を8月から立ち上げます。

これまでの経験を生かし、育成会会員の皆さまにとってプラスになる情報を提供できればと思っています。

(渡邊 一男)